

民営化初年度はまずは順調なスタートを切り、第三者評価、世田谷区の保護者アンケートでも評価を受け、2008年度の入園希望者も多く大過なく終えようとしています。しかし、民営化2年目は真価を問われる年であり、公立保育の踏襲から一步踏み出し、雲柱社烏山保育園の保育を確立する第1歩の重要な年なので、初年度の評価に甘えることなく、初年度以上の緊張感を持って臨まねばならないと思います。

法人の理念、保育目標を常に念頭におき、民営化保育園であり具体的なキリスト教保育はできませんが、職員はその精神に則り、法人の理念、保育目標に基づき、どんな子どもに育って欲しいかを常に問いかけながら、保護者の立場にも立ち、日々の保育を実践していくつもりです。特に若い職員集団であり、保育指針も改定になるので、内外部の研修等には積極的に参加させることが必要です。また、保育環境、特に保育室内の環境のさらなる充実にも努めたいと思います。さらに4時間延長、休日保育等保育時間も長く職員全員が揃うことがむずかしいので、組織のあり方に工夫することも課題です。

また、地域に根ざし、親しまれる保育園として歩んでいきたいと思います。

保育目標

- ① ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
- ② のびのびとしなやかに、自分のからだを動かして遊ぶ子ども
- ③ 基本的生活習慣が身につき、見通しをもってできることを自分でする子ども
- ④ さまざまな人との関わりを大切にし、思いやりをもって共に生きる子ども
- ⑤ 自然や命あるものとの出会いを大切にし、豊かに感じとり表現する子ども

1 施設運営

（1）実施事業

ア 特別保育等

- ・ 0歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：12名）
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育事業（4時間延長）
- ・ 休日保育
- ・ 障害児保育事業実施（3名）
- ・ アレルギー児に対する除去食及び代替食実施

イ 地域子育て推進

- ・ 退所児童との交流
- ・ 中高生の育児体験受入れ
- ・ 保育所体験（パートナー登録）
- ・ 出前保育
- ・ 年末保育 12／29、30実施予定

（2）児童の処遇

ア クラス編成 認可定員 114名

クラス名	年齢	保育士数	園児数	障碍児数	備考
ひよこ組	0歳	5名	13名		*看護師
ちょうちょ組	1歳	4名	18名		
うさぎ組	2歳	4名	20名	1名	
たんぽぽ組	3歳	2名	22名		
やま組	4歳	2名	22名	1名	
ひ組	5歳	2名	22名	1名	
	その他	6名			
合 計		25名	117名		

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 362日
30日	31日	30日	31日	31日	30日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
31日	30日	30日	28日	28日	31日	

ウ 健康管理

身体測定 毎月 1回
 視力測定 「4, 5歳児」 10月
 健康診断
 乳児 毎月 2回
 幼児 年2回 (5月、10月)
 歯科検診 年1回 (6月)
 蛭虫卵検査 年1回 (6月)
 歯磨き指導 9月
 耳鼻科検診 9月

エ 保 育

各組の保育目標

ひ組（5歳児）の年間目標

- ①・様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ②・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しむ。
- ③・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ④・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
 - ・年齢や様々な人とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
 - ・人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ⑤・自分のもつ好奇心や知的探求心を動かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かに

なり感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する。

やま組（４歳児）の年間目標

- ①・一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ②・友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
 - ・意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ③・健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ④・人に話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ⑤・自然や身近の事がらにふれ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

たんぽぽ組（３歳児）の年間目標

- ①・生活が自立してくることで自信もち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ②・外遊びを十分にするなど遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。
- ③・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。
- ④・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ⑤・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づき感性を豊かにする。

うさぎ組（２歳児）の年間目標

- ①・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちを出せるとともに、自分の気持ちを切り替えられるようになる。
- ②・体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ③・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ④・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
- ⑤・大人やまわりのことに興味をもち、みたく・つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

ちょうちょ組（１歳児）の年間目標

- ①・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ②・保育士にも見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かすことを楽しむ。
- ③・安心できる保育士との関係のもとで、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ④・安心できる大人に見守られ中で、他の子どもにも関心をもち、関わろうとする。
- ⑤・身のまわりの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心や関心をもつ。

ひよこ組（０歳児）の年間目標

- ①・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ②・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
- ③・保健的で安全な環境をつくり、常に体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快

適な生活ができるようにする。

- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
 - ・個人差に応じて離乳を勧め、いろいろな食品に慣れ幼児食への移行を図る。
- ④・優しく語りかけたり、発声や喃語に応答し、発語の意欲を育てる。
- ⑤・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能を促す。
- ・ 安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具などを、見たり、触れたりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

主な行事予定	4月	入園式（3万円）
(行事費用)	5月	4，5歳児遠足（1万円） 保護者会 カレーパーティ
	6月	5歳児プラネタリウム（1万5千円） プール開き
	7月	七夕（1万円） ひまわり祭り「夏祭り」（15万円） ひまわりキャンプ「5歳児お泊り会」（5万円）
	8月	卒園生交流（2万円）
	9月	プール終い ほのぼの会「敬老会」（1万円） お月見（5千円）
	10月	運動会（10万円） 5歳児遠足（2万円）
	11月	3，4歳児遠足（12万円） 収穫祭・豚汁パーティ 個人面談
	12月	クリスマス会（20万円） 個人面談
	1月	餅つき会（2万円）
	2月	豆まき 保護者会
	3月	ひな祭り 卒園・終了式（25万円） 5歳児お別れ遠足（5万円） お別れパーティ

オ 栄養管理

集団給食施設栄養報告 年 2 回

栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成

季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
給食供給者としての諸管理

カ 安全管理

非常災害時の避難訓練

引き渡し訓練の実施（１月）

（２）職員の処遇

ア 職員構成

園 長	1 名
副園長	1 名
主任保育士	2 名
保 育 士	2 3 名
調 理 員	7 名（栄養士含む）
看 護 師	1 名
保育パート職員	8 名
見回りと用務	2 名
音楽講師	1 名（非常勤）
嘱 託 医	1 名（非常勤）

イ 健康管理

健康診断 年 1 回

細菌検査 年 1 2 回

全職員及びパート職員毎月 1 回

ウ 会議

- ・職員会議 毎月 1 回
- ・主任会 毎月 2 回
- ・各担当打ち合わせ 毎月 2 回
- ・行事前打ち合わせ（随時）
- ・反省会（年 2 回）
- ・新年度打ち合わせ

エ 研修計画（研修費用）

- ・園内研修（10 万円）
- ・法人内研修（40 万円）
- ・都私立保育園連盟研修（12 万円）
- ・都社会福祉協議会研修（6 万円）
- ・その他の研修（25 万）

オ 退職・福利厚生

社会福祉・医療機構 退職共済制度加入

東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入

財団法人雲柱社 福利厚生センター加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、・実費徴収事務
- ・労務管理（出勤管理、有給休暇管理 等）

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成
- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検（点検費用）

(3) 備品関係

ア 備品購入予定（購入予定費用）

コーナー遊び用棚、プールふた兼すのこ

イ 保育用品購入予定（購入予定費用）

- ・地域用玩具（20 万）、延長用玩具（10 万）、各クラス玩具等（60 万）

ウ 給食用品購入予定（購入予定費用）

- ・食器類（30 万）

エ 固定資産物品購入予定（購入予定費用）

大型冷蔵庫〈60 万〉 パソコン（12 万）

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月 1 回

イ 防災設備の点検委託

年 2 回（内、届け出 1 回）

ウ 非常食糧の備蓄

○（全園児数＋全職員数）× 3 食 ×（1、5 日）分

3 地域社会との連携

- ・ 烏山地域子育て支援の「保育ネット烏山」に参加
- ・ 地域在宅乳幼親子向けに「こひつじの会」月 1 回開催
- ・ 烏山総合庁舎内の他機関〈生活福祉課や社会福祉旧議会など〉と連携する